

II 不登校対応に求められる組織体制

1 チームによる支援

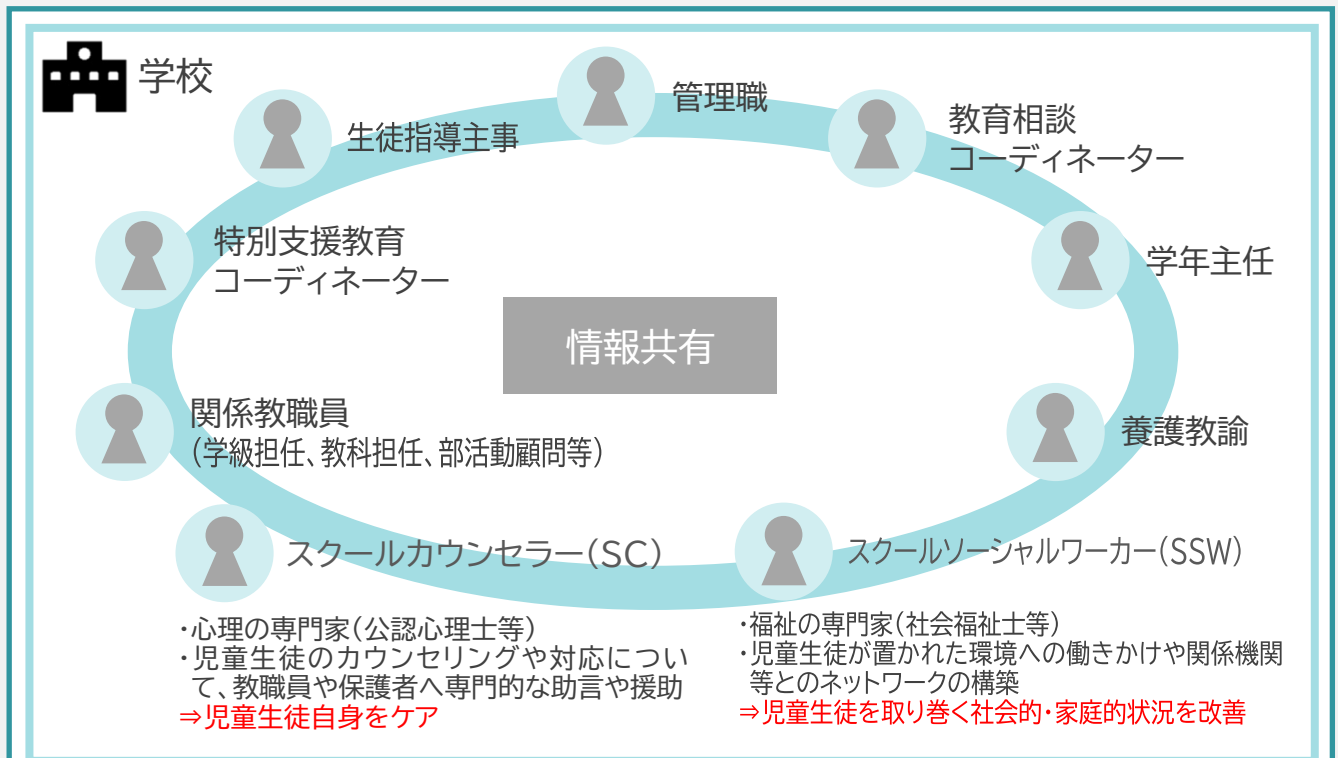
学級担任だけでは、十分な支援を行うことができません。どうしたらよいのですか？



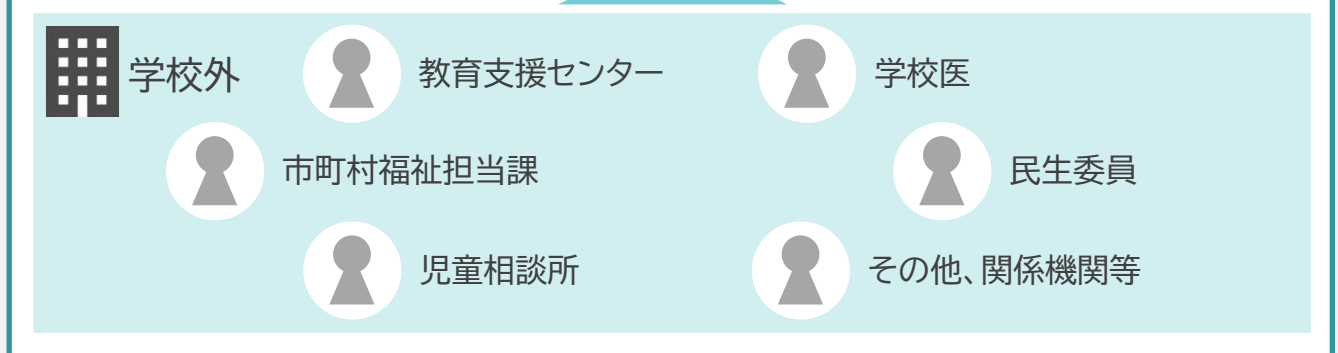
- ✓学校全体でチームとして、児童生徒一人一人への最適な指導・援助を行いましょう。
- ✓大切なことは、学級担任だけではなく、他の教職員や多職種の専門家、関係機関がチームを組み、アセスメントに基づいて役割分担をすることにより、指導・援助の幅や可能性を広げることです。



「チーム学校」の例



必要に応じて連携・協働



2 組織的な取組の充実

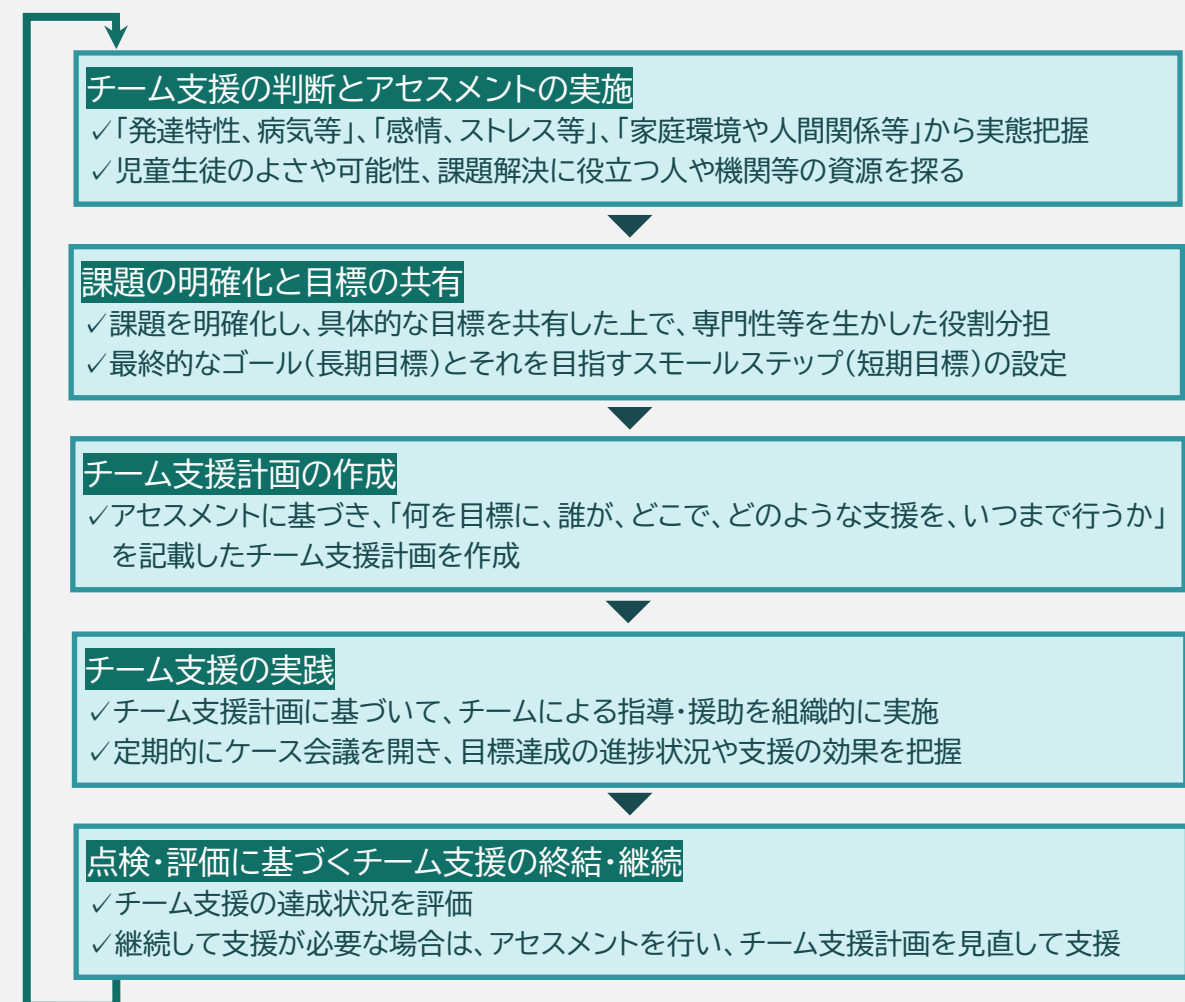
組織的な支援を充実させるためには、
どうしたらよいでしょうか？



- ✓目標を共有し、アセスメントに基づいた支援の内容や役割分担等について記載したチーム支援計画や取組プランを作成しましょう。
- ✓大切なことは、教職員間での情報共有が可能になるように、アセスメントシートなどを活用して**情報や対応方針の「可視化(見える化)」**を図ることです。



チーム支援のプロセス(困難課題対応生徒指導及び課題早期発見対応の場合)



- ✓発達支持的生徒指導及び課題未然防止教育におけるチーム支援についても、アセスメントの実施、目標の共有、取組プランの作成、実践、評価、改善の PDCA サイクルにより、取組の効果を高めましょう。

